支部活動報告

神戸東部支部

神戸東部支部は、「神戸市立東灘図書館」「脇の浜地域福祉センター」「コミュニティープラザ」「兵庫医科大学の学園際」の4拠点での活動と出前隊活動を行いました。

拠点活動では、地域のニーズに合わせて、開催日の変更やイベントの企画を行ってきました。今後は、神戸東部支部の魅力を活かし、子どもから高齢者まで幅広い世代とつながりを深め、地域に根ざした活動を続けていきたいと考えています。

今年度の拠点活動と出前隊の活動の様子を報告します。

神戸市立東灘図書館

神戸市立東灘図書館の2階会議室を拠点として活動を展開しています。

健康相談では、40代の若い世代の方々の利用が多い一方で、リピーターの数が伸び悩む状況が続いています。この課題を解消するため、次回以降の相談日をその場で案内し、利用者が再び足を運びたくなるような工夫を進めています。

昨年度、導入した「ベビーマッサージ」は、0歳以下の赤ちゃんとそのお母さんを対象に準備をしましたが、参加される方が集まらず、寒冷期の開催や告知方法に課題があると感じています。このため、来年度に向けて、開催時期や告知方法を検討しています。来年度に向けた新たな試みとしては、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が気軽に集まれる場づくりに注力していきたいと考えています。多世代が集まるこのような環境の特性を活かし、あやとりや折り紙といった昭和の遊びを取り入れたプログラムを企画中です。これにより、世代を超えた交流が生まれる場を提供し、地域住民の憩いの場としての役割を果たせるよう努めてまいります。地域の声を反映しながら、柔軟で親しみやすい活動を展開していきたいと思います。

脇の浜地域福祉センター

脇の浜地域福祉センターでは健康相談を実施しています。今年度はこれまで利用していた洋室から、ソファのある談話スペースを活用する形に変更しました。このスペースの利用により、よりリラックスした雰囲気の中で相談ができるようになり、参加者同士の交流もさらに深まる場となりました。また、利用者の方々からのご要望もあり、脇の浜あんしんすこやかセン

ターの提案で8月より曜日を変更しました。他団体で行われているイベントと並行して実施することで、多くの参加者から「続けて参加しやすくなった」と好評をいただいています。さらに、脇の浜あんしんすこやかセンターとの協働で活動を展開し、健康相談の充実を図っています。この連携により、日頃から「どのような人生を送りたいか」といった家族も含めたACP*についての新たな取り組みも行い始めています。

今後も、地域の皆さんが安心して集える場を提供し、健康意識の向上と参加者同士の交流を促進する活動を進めていきます。地域の関係機関とも連携を深めながら、誰もが気軽に利用できる取り組みをさらに充実させたいと思います。

* ACP（Advance Care Planning）将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組み。

コミュニティープラザ

コミュニティープラザでは、健康相談を中心とした活動を展開しています。リピーターの方々に支えられ、活気ある場を維持できていますが、以前に参加された方々と再会できていない状況が気がかりです。これに対して、あんしんすこやかセンターと協力し、参加されなくなった方々へのアプローチ方法を検討する予定です。具体的には、参加が途絶えた理由を把握し、必要な支援があれば迅速に対応できる体制を整えることを目指しています。また、今年度は新しい訪問者にも親しみやすい場作りに注力しました。これまでの活動を継続しつつ、初めて訪れる方々にとっても居心地の良い空間となるよう、スタッフの声かけや柔軟な相談対応を心がけています。健康相談の内容については、従来の血圧測定や運動に関する質問に加え、フレイル予防や認知症に関する相談が増加している傾向があります。

今後は、健康相談の場としての価値をさらに高めるとともに、コミュニティープラザの魅力を広く周知する取り組みを強化していきます。地域の皆さんが気軽に集まり、互いに支え合える場となるよう努力を続け、地域コミュニティ全体のつながりを深める活動を展開していきたいと思います。

出前隊活動

市営住宅の集会所で行われるフレイル予防教室後に、健康相談を行い健康維持の大切さを伝えることができました。参加者から「まちの保健室で話すことを楽しみにしている」とのお声も聞かれ、活動が参加者の方々の外出の機会となっていることが分かりました。また、拠点地である神戸市立東灘図書館で参加された方からの口コミで依頼があり、東灘区のマンションで3月に活動を行う予定です。今後もお祭りなど地域に即した依頼を受けて活動していきます。

小野柄住宅の様子